

第8回ロータリー日韓親善会議

第8回ロータリー日韓親善会議にて
会津若松南ロータリークラブが唯一、
日本ロータリークラブの代表として
結縁事業の紹介、発表を行なう。

会津若松南ロータリークラブ
手代木 徳夫



3年に1回日本と韓国が交互に開催する第8回ロータリー日韓親善会議が今回、9月8・9日、韓国ソウル市で開催、グランド・ハイアットを会場に日本側400名韓国側700名、計1,100名が参加する(第7回は、2003年東京で開催)会津若松南ロータリークラブから手代木徳夫会長以下15名と佐原バスターゴ夫妻も参加いたします。

韓国河東ロータリークラブと会津若松南ロータリークラブが友好クラブを締結して今年で32年になります。両クラブが友好クラブ締結25周年を記念して、会津若松南ロータリークラブが提唱し韓国河東ロータリークラブの協賛で建立した朝鮮遙師(日遥上人)余大男公顕彰碑の件が日韓両国の最優秀結縁事業として唯一、選定され第2日目の本会議場で「400年目の帰郷」と題して20分にわたりスライドを併用して事例

発表する事になりました。両クラブが成し遂げた結縁事業が日韓両国の全会員に披露される訳であります。発表者は韓国河東ロータリークラブの姜 順鉉氏が行なう。

当クラブが行なった友好クラブ事業が世界台で評価され披露されることはクラブにとっては最大の名誉であります。

◎朝鮮遙師(日遥上人)余大男公顕彰碑について
朝鮮出兵に反対であった徳川家康は、幕府を開くと対馬藩を通じて韓国と相互交流をはじめ、大きな成果をあげました。韓国、文学博士李先生の著書「江戸時代の朝鮮通信使」によって交流相手の河東から拉致連行されてきた、一人の天才少年の運命を知ったわけです。この少年は余大男(ヨデナム)と言い熊本から京都に送られて学問を学んでいましたが、たまたま朝鮮通信使に

遭遇し出身地と身の上を伝えます。その後僧籍に入って身延山で修業し、熊本本妙寺の住職となります。何年かして戦乱を生き延びた両親から突然手紙が届きました。余大男(ヨデナム)は日遥と名乗っておりましたが、両親の生存を知って、孝養を尽くしたいと思い再三帰国を願っていましたが帰国は許されませんでした。

熊本本妙寺に切々たる往復書簡が残されています。少年が長じてわが国にもたらした文化、学術、宗教の多方面にわたる貢献をたたえ合わせて新しい時代の通信使として我々の願いよ永遠であれと念じ「400年ぶりの帰郷」を達成すべく少年出生の他韓国河東に記念の碑を建設いたしました。(1998・10月 建立)
なを、余大男公顕彰碑の保存管理は余大男公の

子孫が行なっており
ます。
建立5年(2003年)
には当クラブより訪
韓して、韓国河東ク
ラブと余大男公の子
孫が参加して建立5
年記念式典を取り行
なっております。

☆韓国のロータリー
クラブと友好クラブ
を締結している日本
のロータリークラブ
は16地区・269クラブです。



日韓ロータリー親善会議 報告 会津若松南ロータリークラブ 手代木 徳夫

9月8日～10日に韓国ソウル市開催された日韓ロータリー親善会議に当南クラブより16名と佐原バスターゴ夫妻も参加いたしました。8日早朝6時にホテルニューパレス前を出発7時40分新潟空港に到着、9時30分大韓航空KE764便にて出発11時45分韓国仁川空港到着しソウル市内イテオンH経由会場であるグランドハイアットHへ15時到着会議開始前ホテルロビーにて河東ロータリークラブの人々と会い再会を喜び親交を深めました。15時30分より親善会議第1日が式次第により進行致しました。18時30分より晩餐会を開催テーブルも姜順鉉三の配慮により中央のよい席に河東クラブの人々と一緒に着くことが出来ました。晩餐会終了後19時30分より河東ロータリークラブ23名当クラブ16名と一緒に市内レストランで交流会を開催し親交を深めました。

当クラブより河東ロータリークラブ、と講演を行なう姜順鉉に感謝杯の贈呈と会員23名に記念品の贈呈を行ないました。遅く10時近くまで懇談し河東ロータリークラブの人々と変わらない友情を深めました。

第2日目はイテオンHを8時30分に出発9時から開式今回の主目的である当クラブと河東ロータリークラブの結縁事業である余大男公顕彰碑建立に関して「400年の帰郷」と題して河東ロータリークラブ姜順鉉の講演は11時40分～12時まで行なわれました。1100名を超える出席者に非常に感銘を与えました。出席した当ク

ラブ会員と河東ロータリークラブ会員の紹介があり会員一同感激し感無量でした。15時10分閉会しました。その後2009年行なわれるロータリー世界大会の会場で開催される韓国農業博覧会を見学、河東ロータリークラブ会員の出品している会場内ブースで牛肉と真露の試食、試食を行なう。18時30分海鮮レストランで夕食会。

第3日ホテルを9時出発ソウル市内観光・南大門市場等々散策・昼食後14時30分空港へ17時25分発KE763便にて新潟空港へ19時30分到着20時バスにて会津若松市へ22時到着・解散

今回の日韓ロータリー親善会議は当クラブにとっては河東ロータリークラブとの33年にわたる友好交流が日韓の全クラブに周知徹底され余大男公顕彰碑建立の結縁事業が評価された大会でありました。建立に努力されました人々にあらためて真順なる感謝を申し上げます。

